

公益財団法人千里リサイクルプラザ令和8年度(2026年度)定時評議員会議事録

1. 開催日時 令和8年5月27日(水) 午前10時00分から同11時15分
2. 開催場所 吹田市資源リサイクルセンターA棟5階 講義室2
3. 評議員現在数 8名
4. 評議員定足数 5名
5. 出席評議員数 6名
(出席評議員) 内田 慶市 紙谷 和典 大黒 賢宏
金林 宏哉 新川 達郎 丹羽野和夫
(欠席評議員) 岡松 道哉 中嶋 洋
6. 出席理事 小幡 範雄 平田 美恵子
7. 出席監事 仲上 健一 堀江 篤史

8. 会議の目的事項

- 決議事項 第1号議案 令和7年度(2025年度)事業報告及び決算の件
第2号議案 評議員4名選任の件
第3号議案 理事5名選任の件

- 報告事項 ア 令和7年度第1回理事会決議等について
イ 令和7年度第2回理事会決議等について
ウ 令和7年度第3回理事会決議等について
エ 令和7年度第4回理事会決議等について

9. 会議の概要

(1) 議長の確認

小幡範雄理事長の挨拶後、冒頭で岩田恵事務局長が司会となり、議事の進行に先立ち、定款第19条に定める評議員の互選による議長の選出について諮ったところ、満場一致をもって内田慶市評議員が議長に選出された。

(2) 定足数の確認

議長は、総評議員数8名のうち出席評議員数が6名であることを確認し、定足数を満たしているため、本日の評議員会が有効に成立していることを報告した。

(3) 議事録署名人の指名

議長が本日の議案の審議に入る前に、議事録署名人として新川達郎評議員及び丹羽野和夫評議員を指名した。

(4) 議案の審議状況及び議決結果

①第1号議案 令和7年度(2025年度)事業報告及び決算の件

議長が、第1号議案を議題とし、事務局に説明を求めたところ、岩田恵事務局長が、この議案については定款第8条第1項に定める監事の監査を受け理事会の承認を受けたので、評議員会の議決を求める旨を説明した。次に仲上健一監事より、監査意見として、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めること、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、また、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨の監査報告があった。続いて事業報告については協敦子主

幹、大森亘主査が、決算書類については林幸彦主幹がそれぞれ議案書を基に順次説明を行った。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質問及び意見があった。

(新川評議員)

インスタグラム、X、Facebook、LINE 等、SNS の活用はどのようにしているのか。

(林主幹)

インスタグラム、X、Facebook については定期的な情報発信を行っている。また、イベント開催時には SNS の QR コードを提示し、フォローした来場者に特典を提供するなど、フォロワー数の増加に努めている。LINE については、受託事業に限られるが、吹田市公式 LINE を活用して情報発信を行っている。

(新川評議員)

SNS の活用状況も機会があれば報告してもらいたい。

次に基本財産の運用についてであるが、国債の評価額が下落している状況を踏まえ、20年国債・30年国債を基本財産として保有すること自体の課題認識や、運用方針の決定について、昨年度の検討も含めて教えてもらいたい。

(田崎参事)

これまでは「債券運用基準」のみで運用していたが、国債の買換えを検討する中で、新たに「資金運用規則」を制定し、その中で資金運用委員会を設置した。また、令和7年度には、規則に基づき1億6千万円の国債の買換えを実施した。

さらに、基本財産については、安全性を重視する観点から、運用対象を円建て預貯金、元本保証特約付円建て金銭信託、日本国債、地方債及び特別の法律により元本保証されている債券に限定している。一方、基本財産以外のその他の資産については、一定以上の格付けを有する社債も運用対象としていること、いずれの資産についても資金運用規則に基づき運用していく方針である。

(新川評議員)

資金運用委員会の構成としては、民間の専門家や、事業者等にも入ってもらえるのか。

(田崎参事)

令和7年度については、複数の証券会社の意見を参考にしながら、資金運用委員会において検討を行った。今後については、規則に基づき、有識者を委員会へ加えることも必要に応じて検討していきたい。

(新川評議員)

基本的に、超安定資産を運用されているので、元本は保証されるが低利率となる側面もある。今後の経済情勢の変動も踏まえ、資金運用委員会において、資産運用のあり方や運用ルールについて継続的に検討してほしい。

質問及び意見を求めたところ、これ以上質問及び意見はなかったので採決を諮ったところ、満場一致をもって第1号議案は承認可決された。

②第2号議案 評議員4名選任の件

議長が、第2号議案を議題とし、事務局に説明を求めたところ、岩田恵事務局長が、本年度の定時評議員会終結の時をもって現評議員8名のうち2名が任期満了となるため、再任候補者1名と新たな候補者1名を提案し、また別に2名の評議員が任期途中での辞任を申し出たため新たに候補者2名を提案、併せて4名につき、議長は候補者ごとに名前を読み上げ審議した。

審議した結果、議長は評議員候補者 4 名の選任の決議を求め、出席評議員全員一致で可決した。

(再任)

丹羽野 和夫

(新任)

今峰 みちの、岡本 健太郎、高垣 伸章

任期は選任された日から令和 12 年度定時評議員会の終結の時まで。

なお、任期満了による退任者 1 名と任期途中での辞任者 2 名は次のとおり。

(退任)

中嶋 ~~宏~~ 洋

(辞任)

岡松 道哉、大黒 賢宏

③第 3 号議案 理事 5 名選任の件

議長が、第 3 号議案を議題とし、事務局に説明を求めたところ、岩田恵事務局長が、本年度の定時評議員会終結の時をもって現理事 10 名のうち 3 名が任期満了となるため再任候補者 3 名を提案し、また別に 2 名の理事が任期途中での辞任を申し出たため新たに候補者を 2 名提案、併せて 5 名につき、議長は候補者ごとに名前を読み上げ審議した。

審議した結果、次のとおり選任を出席評議員全員一致で可決した。

(再任)

上野 浩文、大江 慶博、道澤 宏行

(新任)

岩田 恵、西村 元秀

任期はいずれも、選任された日から令和 10 年定時評議員会の終結の時まで。

なお、任期途中での辞任者 2 名は次のとおり。

(辞任)

柴田 仁、平田 美恵子

(5) 報告事項

①令和 7 年度第 1 回理事会報告等について

小幡範雄理事長が、令和 7 年度第 1 回理事会では、第 1 号議案「令和 6 年度(2024 年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件」、第 2 号議案「令和 7 年度(2025 年度)定時評議員会招集の件」が原案どおり承認された旨の報告を行った。

②令和 7 年度第 2 回理事会について

小幡範雄理事長が、令和 7 年度第 2 回理事会においては第 3 号議案「理事長及び副理事長選定の件」を提案し、決議の省略により原案通り承認されたことを報告した。

③令和 7 年度第 3 回理事会報告等について

小幡範雄理事長が、第 4 号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ資金運用規則制定の件」を提案し、資金運用委員会の設置などにより透明性とガバナンスの強化をはかる内容となっており、原案通り承認されたことを報告した。次に令和 7 度上半期の代表理事及び業務執行理事の「職務の執行状況報告」と第 1 四半期と第 2 四半期の監事監査報告について述べ、「職場によるハラスメントの予防・対応について」認定委員会の構成について整理した旨報告した。

④令和 7 年度第 4 回理事会報告等について

小幡範雄理事長が、第5号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ事務局長の件」及び第6号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ職員給与規則一部改正の件」を提案しそれぞれ原案どおり承認されたことを報告した。続いて第7号議案「公益財団法人千里リサイクルプラザ令和8年度(2026年度)事業計画及び収支予算等の承認の件」を提案し、原案通り承認されたことを報告した。

報告が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質疑応答があった。

(新川評議員)

今年度の資産運用について、どのような見通しや検討を行っていくのか、特に30年国債を多額に保有している状況を踏まえた具体的なスケジュールや考え方について教えてほしい。

(田崎参事)

8億円の30年国債については償還まで残り17年程度であり、近年の金利上昇に伴い評価額が下落していることから、現在は評価損が1億円を超える状況である。複数の証券会社と相談を行っているものの、現時点では直ちに買換えを行うタイミングではないと考えており、今後については、償還に向けて価格回復を待つ方法や、一度に買換えを行わず分散して運用する方法なども含め、慎重に検討していきたい。

(新川評議員)

今年度は国債市場にとって大きな転機となる可能性もあることから、理事会等外部の意見も取り入れながら、今後の運用方針や運用計画について整理・検討してもらいたい。また、直ちに買換えの判断を行う必要はないものの、30年国債の償還を見据え、今後10年程度の中長期的な視点に立って、毎年度どのような検討を行うのかといった方向性を整理していく必要がある。さらに、一括での買換えだけでなく、分割して買換えを進める手法など、複数のシナリオを想定しながら柔軟に検討してもらいたい。

(大黒評議員)

中期計画の骨子において、重点取組が1から5まで示されているが、新たな事業を実施していくためには、既存事業の見直し、いわゆるスクラップ・アンド・ビルドの視点も必要ではないかと思う。また、各事業には継続性があるため見直しは容易ではないと思われるが、今後縮小や終了を検討している事業があるのか。

(玉江参事)

今後は市民研究所事業を強化していく方向で検討しており、それに伴い、既存事業の見直しも進めていく必要があると考えている。

(大黒評議員)

長年継続している事業については、継続性や利用者への影響もあり、やめることは難しいと思うが、新たな取組を進めていくためには、整理や見直しも必要である。

(内田議長)

第3次中期計画については、8月頃に具体的なものができるのか。

(小幡理事長)

第3次中期計画は5年間を見据えた計画として現在策定を進めており、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを含めて検討している。一方で、限られた人員体制の中で事業の取捨選択を行うことは容易ではなく、様々な意見もあることから慎重に検討を進めている。また、計画については令和8年8月頃の取りまとめを目指している。

(新川評議員)

5年後の吹田市及びリサイクルプラザを含めた循環経済のあるべき姿を描き、その将来像から逆算して取組を検討するバックキャストの視点が重要である。また、世界的にサーキュラーエコノミーへの移行が進み、新たな市場が生まれている状況を踏まえ、吹田市においてもその流れを先取りするような計画とし、事業の選択と集中を図ることが望ましいと思う。

議長は他に質問及び意見を求めたが、質問及び意見はなく、審議を終了した。続いて、本会議をもって辞任する平田美恵子副理事長が挨拶し、議長は午前11時15分に閉会を宣言し解散した。

この議事録が正確であることを証するため議長、議事録署名人及び理事長が記名押印する。

令和8年5月27日

議 長 内 田 慶 市



議事録署名人 新 川 達 郎



議事録署名人 丹 羽 野 和 夫



理 事 長 小 幡 範 雄



本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人千里リサイクルプラザ

事務局参事 田 崎 貴 子

総務担当 林 幸 彦

捺印

